

# 高森の駅とまちシンポジウム #1 「駅と広場とまちづくり」

2月11日(祝)  
13:30~16:00  
@高森総合センター

2023年夏の南阿蘇鉄道全線開通、2024年春の高森駅グランドオープンを見据え、高森の駅とまちづくりを考えるシンポジウムを行います。  
第1回目となる今回は、高森駅の「とにかく広いプラットホーム」の芝生広場をまちづくりにどう活かしていくか、広場とまちづくりのスペシャリストとともに考えます。

入場無料

参加登録制

定員：50名



南阿蘇鉄道高森駅完成予想模型

## ゲスト



山下裕子 / 広場ニスト

### 「楽しい日本のまちなか広場」

2007年より富山グランドプラザ運営事務所勤務。2009年地域活性化センター第21期全国地域リーダー養成塾修了。2014年より個人活動開始。様々な地域のまちなか広場づくりに地元の伴走者的立ち位置で活動を続ける。著書に『にぎわいの場 富山グランドプラザ-稼働率100%の公共空間のつくり方』(学芸出版社)、『生きた景観マネジメント』(共著・鹿島出版会)、『コンパクトシティのアーバニズム』(共著・東京大学出版会)



山根俊輔 / 建築家

### 「延岡駅と延岡のまちづくり」

1985年広島生まれ。乾久美子建築設計事務所にて在籍(2009~2018年)後、2019年より山根製作所を主宰。乾事務所在籍中は2020年日本建築学会賞(作品)に選ばれた延岡市駅前複合施設(エンクロス)を担当。その後延岡市で独立し、建築設計・店舗運営・地域企業CSR企画などを手がける。コワーキングスナック「n計画」(2020年)、「waiwaiPLAYLAB」(2022年)など、ユニークなまちづくりを延岡で展開する。



面木健 / オモケンパークディレクター

### 「オモケンパークのこれまでとこれから」

1965年熊本市中央区上通生まれ。漆器屋、靴屋、テナントビルと業態を変えながらの3代目。熊本地震で被災したビルを取り壊し、CLTによる建物とすることで、生まれたスペースに阿蘇の樹々を植え、古井戸を復活させて、熊本のシンボル“地下水”が湧き出る町なか広場をつくった。物の売買が中心だった「商店街」のエリアに、人々のアクティビティが生まれる場づくりをすることで、新たな賑わいの創出を目指している。



富山・グランドプラザ



延岡・waiwaiPLAYLAB



熊本・オモケンパーク

〈タイムテーブル〉

13:30- ゲストによる事例紹介

15:10- ディスカッション「駅と広場からのまちづくり」

16:00 終了

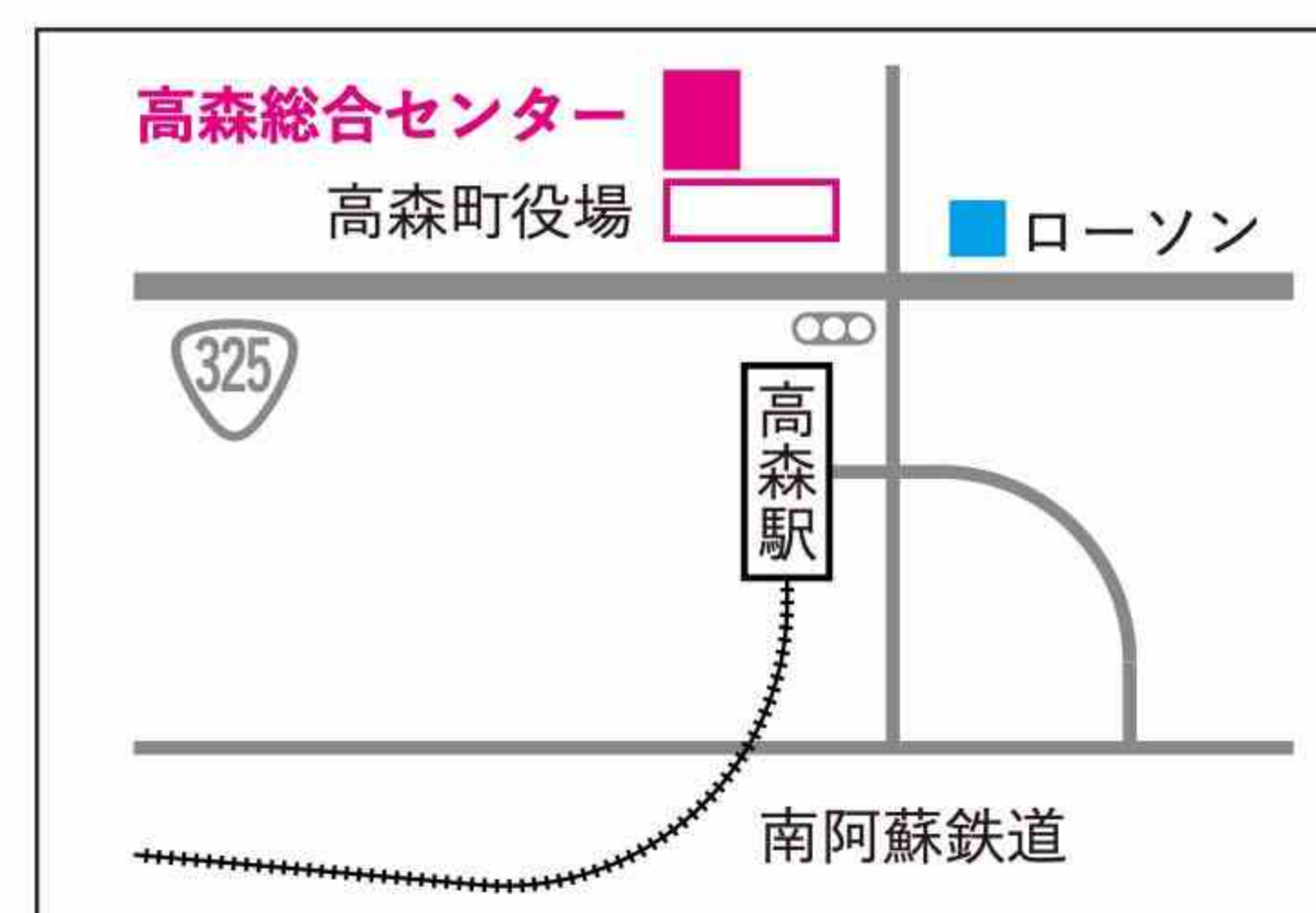
司会：太田浩史(建築家/高森駅建築設計担当)

林英理子(ランドスケープデザイナー/高森駅外構設計担当)

主催：高森町

協力：熊本県・くまもとアートポリス 問合せ：info@neuob.com

会場：高森総合センター  
(高森町高森 2168)



参加登録は↓または  
info@neuob.comへ

